

平成16年度事務事業評価表

担当	市民福祉部	福祉課	内線等	2112
事業コード		事務事業名	地域福祉サービスセンター事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
その他	その他

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市社会福祉協議会に対し
手 段	地域福祉サービスセンター事業に補助することによって
想定する成果	地域福祉の増進を図る。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
相談件数	885件	1,319件	1,300件
いきいきサロン開催団体数	10団体	10団体	11団体
いきいきサロン参加者	1,887人	1,906人	1,900人
補助総事業費	13,405千円	13,272千円	13,596千円

④成果指標

成果指標名	①	②
	1月当たり相談件数	1月当たりのいきいきサロン参加者
成果指標の説明	相談件数÷12月	いきいきサロン参加者÷12月

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	108件
	実績	74件	110件	-
成果指標 ②	計画	-	-	158人
	実績	157人	159人	-
事業費	事業費	10,792	13,796	13,695
	人件費	812	804	828
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	11,604	14,600	14,523
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	11,604	14,600	14,523

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	福祉相談、いきいきサロン等地域の福祉サービスを支援している。
経済効率性	2	2	いきいきサロン事業により地域福祉事業の推進が図られた。
事務効率性	2	2	社会福祉協議会が実施する事業に補助している。
必要性	2	2	いきいきサロン事業は地域福祉の推進に役立つものである。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	いきいきサロン事業には地域住民の参加がある。
合計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	地域福祉サービスセンター事業は、福祉カルテ作成、ケース検討会議、サービス情報提供、福祉・法律相談及び地域住民参加のいきいきサロン事業を実施している。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

地域福祉サービスセンター事業は、平成7年度から実施している。

⑧今後改善すべき点

--

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	市民福祉部	福祉課	内線等	2112
事業コード		事務事業名	ボランティアセンター事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
その他	その他

②事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡市社会福祉協議会に対し
手 段	ボランティアセンター事業に補助することによって
想定する成果	ボランティア活動を支援する。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
手話点字等養成講座	年2回 27人	年3回 16人	年2回 22人
声の広報発行	年24回 54部	年24回 54部	年24回 54部
ふれあいレクタイム	年2回 438人	年2回 295人	年2回 491人

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	ボランティア登録者1人当たり補助金	補助率
成果指標の説明	補助金額÷登録者数	補助金額÷事業費総額×100

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	3,390円
	実績	2,645円	3,180円	-
成果指標 ②	計画	-	-	77.7%
	実績	80.4%	60.3%	-
事業費	事業費	1,637	2,000	2,000
	人件費	812	804	828
	(人数)	1.0	1.0	1.0
	合計	2,449	2,804	2,828
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,449	2,804	2,828

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	手話・点字ボランティアの育成、派遣及び障害者の交流会を実施している。
経済効率性	2	2	ボランティアの育成を支援している。
事務効率性	2	2	社会福祉協議会が実施する事業に補助を支出しているもので事務効率性は良好である。
必要性	2	2	声・点字広報を作成等ボランティア活動支援に役立っている。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	ボランティア参加者に限られる。
合計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	社会福祉協議会が行うボランティアセンター事業は手話・点字養成講座、声の広報、点字広報及び障害者交流事業（ふれあいレクタイム）実施している。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

ボランティアセンター事業は、平成7年度から実施している。

⑧今後改善すべき点

⑨平成18年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	市民福祉部	福祉課	内線等	2112
事業コード		事務事業名	在宅福祉サービス事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
その他	その他

②事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡市社会福祉協議会に対し
手 段	在宅福祉サービス「ふれあい蒲郡」事業の運営に補助することによって
想定する成果	要援護者に対して在宅福祉サービスの充実を図る。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
利用会員数	173人	177人	200人
延利用時間	8,768時間	8,668時間	11,033時間
事業費総額	8,398,568円	10,073,947円	11,033,000円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	会員1人当たり年間利用時間	補助率
成果指標の説明	年間利用時間÷会員数	補助金額÷事業費総額×100

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	55時間
	実績	51時間	49時間	-
成果指標 ②	計画	-	-	22.2%
	実績	8.2%	25.7%	-
事業費	事業費	685	2,587	2,452
	人件費	812	804	828
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	1,497	3,391	3,280
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,497	3,391	3,280

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	日常生活に支障のある方が利用会員となり、在宅・送迎・配食サービスを有償で受ける。
経済効率性	2	2	公的サービスにないもの及び受けれない方のサービスとして役立っている。
事務効率性	2	2	社会福祉協議会が実施する事業に補助金を支出しているもので事務効率性は良好である。
必要性	2	2	移送サービスは、市内のタクシー会社では福祉車両がないため、利用会員にとって必要なサービスである。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	利用会員、協力会員に限られる。
合計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	在宅福祉サービス事業は日常生活に支障がある方が利用会員になり、地域の中から参加した協力会員が介護や家事援助サービスを有料で提供する会員制の相互扶助の制度である。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

在宅福祉サービス事業は、平成8年度から実施している。

⑧今後改善すべき点

移送サービスについては、平成17年度に福祉有償運送許可を受ける必要がある。

⑨平成18年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	市民福祉部	福祉課	内線等	2112
事業コード		事務事業名	精神障害者小規模保護作業所運営事業	
根拠法令等	蒲郡市精神障害者小規模保護作業所運営事業費補助金交付要綱		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	障害者（児）福祉

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡精神障害者地域家族会に対し
手 段	小規模保護作業所の運営を支援することによって
想定する成果	精神障害者の就労意欲及び社会適用能力の向上を図る。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
開所日数	191日	188日	191日
通所延人数	3,714人	2,500人	1,910人
当初登録人数	26人	26人	29人
補助金額	9,381,000円	7,186,000円	4,881,000円

④成果指標

成果指標名	①	②
	1日当たり通所人員	1人当たり補助金額（日額）
成果指標の説明	通所延人員÷開所日数	補助金額÷当初登録人員

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	10.0人
	実績	19.4人	13.3人	-
成果指標 ②	計画	-	-	168
	実績	361	276	-
事業費	事業費	14,458	14,372	9,762
	人件費	1,623	1,607	1,656
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	16,081	15,979	11,418
財源内訳	国			
	県	6,733	7,186	4,881
	市債			
	その他			
	一般財源	9,348	8,793	6,537

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	精神障害者が作業訓練、生活指導を受けることにより就業意欲、社会適応能力の向上を図っている。
経済効率性	2	3	精神障害者の社会復帰の場である。
事務効率性	2	2	運営主体の蒲郡精神障害者地域家族会に補助金を支出しているもので事務効率性は良好である。
必要性	3	3	精神障害者小規模保護作業所は在宅の精神障害者の社会復帰を促進するところである。
小計	10 /12 満点中	11 /12 満点中	
市民参加度	2	2	利用者は在宅の精神障害者に限られる。
合計	12 /15 満点中	13 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	精神障害者小規模保護作業所は「オレンジホーム」「ステップしおさい」の2箇所あり運営主体の蒲郡精神障害者地域家族会に運営補助することにより精神障害者の社会復帰を促進させるものである。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

精神障害者小規模保護作業所「オレンジホーム」は平成16年10月から「社会福祉法人はばたき」が運営する小規模通所授産施設となった。

⑧今後改善すべき点

⑨平成18年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	市民福祉部	福祉課	内線等	2112
事業コード		事務事業名	福祉団体活動援助事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則
		Dその他	Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
その他	その他

②事務事業の内容

対象（受益者）	福祉団体に対し
手 段	福祉団体に補助することによって
想定する成果	福祉団体の活動を支援する。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
団体数	12	12	12
会員数	3,119人	3,076人	3,074人
団体事業費	25,176,000円	21,205,000円	20,723,000円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	会員1人当たりの補助金額	補助率
成果指標の説明	補助金額÷会員数	補助金額÷団体事業費×100

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	883円
	実績	903円	882円	-
成果指標 ②	計画	-	-	13.1%
	実績	11.2%	12.8%	-
事業費	事業費	2,818	2,713	2,713
	人件費	812	804	828
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	3,630	3,517	3,541
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,630	3,517	3,541

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	福祉団体12団体に対する補助金であり、団体活動の財政的支援となっている。
経済効率性	2	2	11団体が定額運営費補助、1団体が事業費相当額の補助である。
事務効率性	2	2	福祉団体に補助金を支出しているもので事務効率性は良好である。
必要性	2	2	福祉団体の財政的支援となっている。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	福祉団体会員に限られる。
合計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	福祉団体の補助金は団体運営の財政支援であるが、一部の団体では繰越金を生じているので、小額な補助金を含めて見直す必要がある。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

平成16年度に一部の団体の補助金額を見直した。

（補助対象団体）

傷い軍人会・精神障害者地域家族会・保護司会・遺族連合会・軍人軍属恩給欠格者連盟
民生児童委員協議会・更生保護女性会・手をつなぐ育成会・肢体不自由児者父母の会・不老会
折鶴会・身体障害者福祉協会

⑧今後改善すべき点

⑨平成18年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	市民福祉部	福祉課	内線等	2112
事業コード		事務事業名	小額資金貸付事業	
根拠法令等	蒲郡市小額資金貸付要綱		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	低所得者

②事務事業の内容

対象（受益者）	低所得者に対し
手 段	小額資金貸付制度を社会福祉協議会に委託することによって
想定する成果	低所得者の生活支援を図る。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
貸付件数	55件	40件	40件
貸付金額	2,269,000円	1,530,000円	1,530,000円
貸付償還期限経過状況	36件 1,311,000円	43件 1,531,000円	-

④成果指標

成果指標名	①	②
	1件当たりの貸付金額	貸付1件当たりの経費
成果指標の説明	貸付金額÷貸付件数	貸付事務委託料÷貸付件数

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	38,250円
	実績	41,255円	38,250円	-
成果指標 ②	計画	-	-	5,000円
	実績	4,545円	6,250円	-
事業費	事業費	250	250	200
	人件費	812	804	828
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	1,062	1,054	1,028
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,062	1,054	1,028

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	年間40件の新規利用があり、低所得者の生活支援に役立っている。
経済効率性	2	2	年度末の貸付件数は50件あり、業務は社会福祉協議会に委託しているため、事務経費は安価である。
事務効率性	2	2	貸付業務は社会福祉協議会に委託して効率を図っている。
必要性	3	2	低所得者の生活支援に役立つ事業である。
小計	9 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	借入申込のときに市民の要望を聞く程度である。
合計	11 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	小額資金貸付は市からの預託金2,500,000円を資金として社会福祉協議会が、低所得者に対し緊急資金として1件50,000円以下を貸付けしているものである。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

--

⑧今後改善すべき点

平成16年度末に償還期限が経過したものが、43件1,531,000円あり、未返済者に対する督促等の方法を検討する必要がある。

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載